FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康　副会長：青島 彰　幹事：酒向 謙次　副幹事：大塚 博巳

第1864回

【 蓮の花 】
写真提供 ： 櫻井 龍太君

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 小西 啓一君

【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
レイ・クリンギンスミス

■ 会 長 報 告　　石垣 善康君

本日は、青島克郎ガバナー補佐をお迎えしての例会です。青島ガバナー補佐には後ほど、ガバナー方針の伝達を始めとしたご挨拶を頂きます。
新年度の始まり、又ガバナー補佐訪問日でもありますので、ロータリーの事についてご報告いたしたいと思います。

ご承知のとおり、１９０５年シカゴでの大火の後、ポールハリスが友人３名で創った親睦クラブでした。その目的は、お互い信頼の出来る仕事上の付き合いをしたい、そしてそのまま親友関係に発展する仲間を増やしたいという事でした。そして、会合の会場を会員の自宅、事務所で輪番で決めたのが、ロータリークラブの語源です。
現在、２００カ国以上に１，２００，０００人のロータリアンがいます。日本では、１９２０年米山梅吉様等が東京に作りました。
現在では、９２,００人の会員がいます。
東京が所属の２７５０地区には、グアムーミクロネシアーパラオ等が属しています。

組織の事を報告いたします。
国際ロータリーを代表するのが、会長です。今年度はアメリカのレイクリンギンスミス氏。
日本人のＲＩ会長は、１９６７年（昭和４２年）が初めてです。
ガバナーは全世界の各地区から、選出されますが、その身分は各地区を代表する事でなく、ＲＩから各地区に出向されたＲＩの出先機関であって、その地区のロータリークラブの代表ではありません。
ガバナー補佐は、ガバナーの補助者であり、ガバナーの意向を受けて、クラブを指導、援助をし、インターシティミーティングを主催する事が主たる業務です。そして将来のガバナーになるべく素養を持った、優秀なロータリアンと定義されています。

ロータリーとは何か。
世界で最初の奉仕クラブ組織です。そして、職業倫理を重んずる経済人のあつまりです。

では、ライオンズは。
Ｉ　ＳＥＲＶＥ　＝私は奉仕する＝奉仕する個人の集まりが、ロータリークラブです。
ライオンズは、ＷＥ　ＳＥＲＶＥ＝スローガンは自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る、となっています。ちなみに、創設は１９１７年、シカゴで元ロータリアンにより創設。
日本は１９５２年（昭和２７年）創設。
反対に会員数は、世界、日本ともにライオンズが少し多いです。
著名人として、松下幸之助氏、司葉子さん、ウインストン　チャーチル氏、ジョージブッシュ氏等、多数おられます。

最後に、ロータリアンになったメリットがいわれています。

：交友関係が広くなる。	：常識が広くなる。
：行儀がよくなる	：朗らかになる。
：社交的になる	：顔に品がでてくる。
：几帳面になる。	：話題が豊富になる。
：健康になる	：家族が喜ぶ。

これはＲＩ２６５０地区のガバナー事務所が作成したマニュアルに記載されています。

■ 幹 事 報 告　　酒向 謙次君

- 国際ロータリー日本事務局経理室から 2010 年 8 月のレートのお知らせ。 1＄88円です。
- 中山ガバナーより
  6月に開かれました「地区会員増強セミナー」にてお話をいただいた藤林パストガバナーの講和の CD が届いております。興味のある方は事務局へ申し出てください。お貸しします。
- ヤンジュロータリークラブより、クラブ案内が届いております。
- 故小林治助さんより、ロータリアンとしての薫陶を受けられた方から、以前当ロータリーにて卓話された内容をまとめたものが届いております。

■ 出 席 報 告　　竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
35／42　83.33%	33／42　78.57%

(1)欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
○石割君　○玉木君　○松葉義君　板倉君
落合君　鈴木舜君　仲田晃君
(2)メークアップ者
青島 克郎君（静岡西）　後藤 功君（静岡西）
石割 郁子君（藤枝南）

■ ビ ジ タ ー

大石 啄誌君（榛南）　髙杉 光洋君（藤枝南）

■ ガバナー補佐クラブ訪問

静 岡 第 5 分 区
ガ バ ナ ー 補 佐
青 島 克 郎 君

『ガバナー補佐訪問挨拶及びガバナー方針伝達』

今日で静岡第5分区内9つのクラブのガバナー方針伝達訪問が終わります。同行して頂いた後藤事務局長、大塚博巳事務局次長には大変お世話になりました。暑い中汗をぬぐいながらのクラブ訪問でご苦労をおかけしましたが、お2人ともこの様な経験は自分のためになるからむしろ有り難い位だと言ってくれています。会長幹事会の開催、クラブ訪問など多くの仕事をお2人で分担され完璧にこなしてくれています。　お2人のお力なしでガバナー補佐の業務を遂行することなどとても出来ることではありません。

クラブ訪問をして改めて各クラブの違いを感じました。例会場での対応、例会の雰囲気、クラブ計画書の内容、奉仕活動への取り組みなど様々のことに於いて各クラブの特色があり大変勉強になります。この藤枝クラブにはない他クラブの数多くの優れた部分を目の当たりにしまして、当クラブの皆さんにもっともっと他のクラブに出かけて行って頂きクラブの中でご自分が担当される分野で活かしていただけると有り難いと思います。

9年前に小澤ガバナー補佐に随行し分区内の全てのクラブを何度か回らせていただき、他のクラブの皆様とも知り合う事ができました。全く知らなかった人たちとロータリアンで有るというだけで旧知の友の様に親しくなれる、これこそがロータリーの宝だと思っております。9年後にまさかそのガバナー補佐という大役を背負い各クラブを訪問するなど思いもしませんでした。指名を受けたとき江﨑さんと松葉隆夫さんがわざわざ私の家に来られ、江崎さんからは願って出来るものじゃないから言われたときには黙って受けるものだと諭され観念いたしました。力不足は百も承知ですが出来る限りの事はする覚悟です。

3月にはＩＭも開催され、その準備も年内には始まって参ります。皆さんの惜しみないご協力をお願いいたします。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長は米国ミズリー州ユニオンビルのカークス・ロータリークラブに所属する弁護士でトルーマン州立大学で長年にわたり教授を務められ、障害者の支援活動も熱心に行われています。会長テーマは「地域を育み大陸をつなぐ」で有ります。クリンギンスミス氏はこのテーマを決めるにあたり、過去においてロータリアン以外の人たちに訴えるテーマが殆ど無いことに気づき、ロータリアン以外の人たちにロータリーの目的を説明すると同時にロータリアンに自分たちの奉仕活動、親睦活動の意義を再認識して貰うために決められたテーマだと言って

います。

本年度RI会長の強調事項として「ポリオの撲滅」と「青少年に関わる活動の最優先」の２点を上げています。ポリオの撲滅については既に６月末には１億2800万ドルを達成していますが目標総額の2億ドルを2012年12月までに達成し撲滅を終結させる事になっています。

青少年に関わる活動の最優先につきましてはクリンギンスミス氏自信が、かつてロータリー財団の国際親善奨学生として1年間南アフリカに留学した経験を持つことからその重要性を感じ新世代のためのプログラムの充実を図るとしています。
4月25～30日にシカゴで開催された2010年の規定審議会において従来の4大奉仕に新世代奉仕が加わり5大奉仕となることが採択されました。
また、今年度からＲＩ会長賞の受賞資格を得るための自己採点表が用意され、来年の4月に各クラブからの提出を求められています。このもう一つの大きな目的は各クラブに於いてクラブの現状を確認し、弱い部分を見つけクラブの活動に活かすということではないかと思われます。

中山正邦ガバナーはロータリーのあるべき姿を松尾芭蕉の言う不易流行という言葉で表しています。不易は暖かい友情と寛容の精神、そして4つのテストで表されるロータリー心、もう一つは職業分類であり、変わってはならないロータリーの根幹の部分であります。

ただし、職業分類については1業種5人という緩和政策に対し特に日本では1業種1人のロータリー創立の理念は守られるべきとする意見が根強く残っています。一方、流行はクラブの活動を活性化するための改革であり、それは長期計画の策定やロータリー財団による「未来の夢計画」の導入のように、時代に合わせ変化させるべき事であります。

2009年11月のRI理事会で新RI長期計画が採択され、各クラブにおいても2010～2013年までの3年長期計画をたてるように推奨されています。慣れない事ですので、策定に苦慮されるクラブも多いかと思われますが次の3点を参考にされるよう示されています。

・自分たちのクラブの現在の状況を把握する。
・自分たちのクラブは何を目指すのか今一度考えてみる。
・目標をたて達成するための方法を考える。
また、これらは全員で決定し、結果の測定が可能で取り組み甲斐があり、達成可能であること、そしてその時間が定められていることが必要です。
そして、ロータリー財団の提案する「未来の夢計画」でありますが、これは既に2010年より世界531地区の内、日本の6地区を含む100地区をテスト地区として取り組まれていまして2013年度には全地区に導入する計画となっています。

この実施においては次の6つの重点項目があります。

① 平和と紛争予防、紛争解決
② 疾病予防と治療
③ 水と衛生設備
④ 母子の健康
⑤ 基本的教育と識字率
⑥ 経済と地域社会の発展

これらの中には日本国内でのプログラムに利用できない分野もありますが、各クラブが積極的にプログラムを計画し、財団の地区補助金を各クラブが効果的に利用できるようにすることが目的です。
2010-11年度の会員負担金についてはRI人頭分担金が規定通り1$増えて1人当たり年$50です。　地区資金負担金は1人当たり年21,000円となっています。ただし、当地区では35歳未満の会員に対しては半額に減額するとされています。

今日はガバナー方針の伝達で参っていますのでここで私の意見を申し上げることは相応しく無いと考えますがあえて申し上げたいと思います。

高年齢化する日本のロータリークラブでは若い世代の会員獲得が重要だと言われていますので、このように地区資金負担金の減額措置が取られたものだと思います。この減額が各クラブでの年会費の特例につながるかどうか知りませんが、それが質の高い会員の入会に結びつくは思えません。ロータリアンは職業分類における分野のリーダーである筈です。

誰でも生涯において自己研鑽は必要だと思いま

すがロータリアンはある意味で完成された人たちの集まりなのでは無いのでしょうか。

ロータリークラブは、会費の負担が入会の妨げになるような若い人たちを入会させ研修し育てる場ではないと考えます。むしろ他で研修を積まれ自他共に認められる人格が備わったときにロータリアンからの推薦を受けて仲間に加わるものでは無いのでしょうか。生意気なことを申し上げましたが機会がありましたら皆様のご意見も聞きたいと思っております。

次に地区の会員増強目標ですが各クラブ純増1名です。当分区の各クラブから提出された増強目標は1名から10名と幅広いものの複数の目標を上げられたクラブが多くて全体で27名で会員数444名に対し6.1%の高い目標です。

しかし例年、年度末に退会者が出る傾向があり、今年度も期首の会員数は439名と目標を提出頂いた時より5名減少しております。　当クラブは純増1名の目標ですが必ず達成していただきたいと思います。

次に、ＧＳＥにつきましては米国カリフォルニア州の第5130地区が交換相手となっています。受け入れについては当分区と静岡第４分区が毎年交代で受け持っていますので今年度は当分区としての受け入れはありません。また、このＧＳＥプログラムは2013年を迎える年度で終結する予定となっています。

そして、今年度は「富士山世界遺産登録支援」のプログラムが目標の一つとなりました。富士山の世界遺産登録は静岡県民、山梨県民の切なる願いであります。近隣のクラブでは富士山クリーン作戦など既に色々な活動をされているようですが、国際ロータリー第2620地区として登録推進運動をお手伝いするものです。既にパンフレット等をご覧頂いたと思いますが今年の8月8日を「富士山つながりの日」と命名し8時8分に富士山頂に集まり火口を取り巻き手にてつなぎ遺産登録を願おうというものです。一般の登山者を巻き込みロータリーの知名度を上げるという事ももう一つの目的です。また登山前日の8月7日正午12時に富士山五合目富士宮レストハウス前で登山者の出発式が開催されます。

今年度からクラブ研修リーダー制度が始まり静岡地区のセミナーが11月6日に浜松で開催されます。　当分区内の各クラブからも3年任期のクラブ研修リーダーが任命されました。クラブ研修リーダーはクラブの指南役としてクラブの全てのことに精通される必要があるのではないかということから、会長幹事会でも理事か役員として理事会等へのご出席をお願いを致しました。

最後に、今年度静岡第5分区として取り組みたい3つのことについてお話しさせていただきます。

1つめは、クラブ研修リーダーの皆様のご意見を聞きながら、分区内各クラブのク　ラブ研修リーダー同士の交流と情報交換をするための、例えばクラブ研修リーダー会議の様な組織を立ち上げたいと思っております。

2つめは、今年度の強調事項「青少年に関わる活動の最優先」ということにもつながりますが単独クラブでの参加には負担の大きい青少年交換事業への積極的かつ安定的な参加を推進するため、分区制での継続した取り組みの足がかりをつけたいと思っています。

3つめは、分区内９クラブの会員同士が広く知り合い親交を深める機会として静岡第５分区ゴルフ大会を10月8日(金)に静岡カントリー島田ゴルフコースで開催したいと思います。目的はただ1つ、クラブを超えた親睦ですのでお気軽ご参加の程よろしくお願い申し上げます。

■ 同 好 会 報 告

●ゴルフ同好会
　栗原 毅君

●麻雀同好会
森下 敏顯君

●写真同好会
櫻井 龍太君

本年度は、メンバー６名でスタートしますが、年間行事予定は次の通りです。

１．撮影会
（１）同好会の行事として計画実行する
（２） クリスマス家族会等、クラブの行事に同調して行う。
（３）地域の祭典等に各人が参加する。

２．作品展示
上記の作品を持ち寄って、クラブの定例会に展示する。

３．写真・カメラを題材とした懇談会（懇親会）を行う。

昭和４５年頃から、カメラの自動化が進み、その後「ソニー」が磁気により記録するカメラを発表したのを受けて、各カメラメーカーがデジタルカメラの開発競争が始まり、写真は一般大衆のものとなりました。

会員の皆さん、是非写真同好会に加入して、楽しい作品を作りませんか！！

●カラオケ同好会
大塚博巳君

（担当／小西君）